

ピアニストが音楽室に参上!

小学校の教室にピアニストが登場。プロの生演奏に触れる児童

舞台は学校の音楽室。体育館や講堂で“大人数で静かにじっと座って聴いているだけ”の拘束感をなくし、いつもの音楽室で、すぐ目の前でプロの演奏家の奏でる音、動かす指、息づかい、表情を見聴きして、音楽の感動を体感してもらおうと、この度ピティナでは、学校クラスコンサートをスタートさせた。



今日の音楽の先生はピアニストとクラリネット奏者

始業ベルが鳴り、音楽室に入ってくる生徒たち。大きく蓋を開けたピアノが真ん中に。いつものピアノのはずなのに、今日は何だか違うぞ…?と、生徒たちも興味津々。

「みなさん、こんにちは!」と笑顔で現れたのは、ピアニストの佐藤展子さんと、クラリネット奏者の春澤真由美さん。佐藤展子さんは、2001年に第25回ピティナ・ピアノコンペティションの特級グランプリ、春澤真由美さんは、中・高校の頃から全日本吹奏楽コンクールで連続金賞などと、いずれも才能豊かな若手の音楽家。今回、栄小学校の子どものために、オリジナルのプログラムを用意。終始にこやかに、親しみやすい雰囲気と語りかけてくれる二人の演奏家に、生徒たちもすぐに親しんでいた。

「ピアノって、すごいね…!」

「ピアノの鍵盤って、いくつあるかわかる?」「う〜ん…?」「もっと近くに来て見ていいよ。」の声に、クラス全員がピアノの周りを一斉に囲んで鍵盤を見つめる。「50?」「100!」

第1回目の会場となったのは、埼玉県の北本市立栄小学校。4年生と5年生の計3クラスで実施した。小学校高学年のみずみずしい感性は、ピアノやクラリネットの生の響きと出会うことによって、さらに活き活きとした表情を見せた。

「80?」「じゃあ、そのうち、黒い鍵盤は?」「半分?」「もっと少なさそうだよ。…」「これから弾く曲は、右手は黒い所しか弾かないので、よく見ていてね。」と、ショパンの「黒鍵」を華やかに弾き始めた。

目の前で目まぐるしく動く指と、そこから奏でられる音の迫力に、「すごい!!」と子どもたちは目を見張る。「何でそんなに速く弾けるの?」「間違えたらどうするの?」と、驚きの声が飛ぶ。ピアノの弦のそばにいた生徒は、いつもは閉まっているふたの中で実は激しく動いていることを発見。「見て見て…!」と友達を誘う。

「今度は、遠く〜に響く音を聴いて欲しいな。」と佐藤さんが言うと、今度は思い思いの席に。「トロイメライ」のさつきとはうってかわっての静かな響きに、みな様々な角度から聴く楽しみを体験した。

クラリネットがどんどん小さくなった!

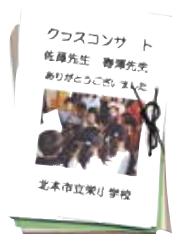
次は、クラリネットの登場。「今日、みんなが持っているリコーダーの仲間を連れてきました。」という説明に、近くで見たこともない楽器と、手元のリコーダーとを、見比べる。シュライナーの「インマー クライナー」の演奏で、指の数よりも多い24個もの穴をふさぐ指の動きと、落ち着いたきれいな音色にうっとりとしている所で、春澤さんは、音楽にあわせて1つずつパーツをはずしていった。どんどん小さくなっていく楽器。手のひらや指も使って演奏を続けていく様子を、「どこまでできるのかな…」と、興味深く見守る生徒たち。とうとう、最後のリードの部分だけになった時には、「ええ〜!!!」とみんな驚きの声をあげた。





「ピアノを弾く自信がついた」「ピアノを習ってみようかな」と嬉しい声が

クラスコンサートから2週間後、栄小学校の4、5年生の全員から、佐藤さん、春澤さんへのお礼と感想のぎっしりつまった文集が届いた。さすがに感性豊かな年代だけあって、観察が鋭い。そんな中に、「わたしもピアノをならっていて、今日、ピアノをしっかりと、ひく自信がもてました。わたしは、このえんそうを聞いて、もっとピアノをすきになりました。」(4年1組)「うれしくて、おばあちゃんやおじいちゃんや、ママ、パパ、弟たちにも話しました。」(4年2組)「ぼくも、さとう先生と、春さわ先生みたいになりたいと思います。練習しておくので、こんど聞いて下さい。」(4年2組)などという嬉しい声もたくさんあった。後日、佐藤さん、春澤さんから、生徒たちへお礼のお手紙が贈られるなど、心温まる交流も続いた。



わたしにもできるかな!?

「次は、みんなが得意な曲を、リコーダーと一緒に演奏しましょう。」と促すと、誰ももなくリコーダーの頭の部分をはずして「ピーッ!」。さっき見たクラリネットの分解劇を早速やってみたのだ。さすがに吸収力が旺盛。「そうそう、みんなのリコーダーでも、できるよ。」と、春澤さん。みんなも真似をして、てのひらや指を使って音を変えてみる。子どもたちの反応にすぐにあわせられるのも、クラスコンサートならではのよさ。「これだけだと色々な音が出ないから、下の部分をつけて音階を作っているの。では、つけて、演奏してみよう。」と、『パフ』をみんなで合奏。最後には、栄小学校の校歌を、ピアノとクラリネットとあわせて合唱して締めくくった。

もっと弾いて!

音楽の時間はあっという間にすぎ、そろそろお別れの時間。「もっと聴きたい!」とせがまれて、アンコールに楽しい『クラリネット・ポルカ』を演奏。軽快なリズムに、聴きながら頭をふってリズムを感じる子どもたち。

授業が終ると、ピアノやクラリネットのそばに寄って行き、「どうやって音を出してるの?」「あの曲、弾いて!」と、まわりにかじりついて、次々に聞く姿が見られた。



ピアノ：佐藤 展子 (さとうのりこ)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース、同大学院修士課程修了。在学中、特待生奨学金を得る。1997年モーツァルト音楽院サマーアカデミーに奨学金を得て参加、A. ヤシンスキ氏に師事。1998年彩の国埼玉新進音楽家オーディションに合格。マラソンコンサートに出演。2000年卒業演奏会、読賣新人演奏会に出演。東京音楽大学シンフォニーオーケストラと共演。英国王立音楽院に奨学金を得て短期留学、C. ベンソン氏に師事。2001年ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ受賞。2002年沼尻竜典氏指揮・日本フィルハーモニー交響楽団と共演。



クラリネット：春澤 真由美 (はるさわまゆみ)

国立音楽大学卒業。中学・高校と全日本吹奏楽コンクール全日本アンサンブルコンテスト全国大会で3年連続金賞等数々受賞。1989年、ベルギーで開催されたプレ・ユーロ・ジャンルの演奏旅行に参加。1997年、1999年、2000年、パリオペラ座のスーパーソリスト、J.F. ヴェルディエ氏のフランス夏期講習会に参加。2000年、第5回日本クラリネットコンクール入賞。同年、彩の国アーティスト・デビューコンサートに出演。現在、小・中学校でのリサイタルや吹奏楽指導、またソリストとして活動中。

クラスコンサート実施概要

会場：小学校の音楽室/対象：小学校3～4年生/日時：平日の午前中に、音楽の授業を1時間ずつ/演奏：ピアノ(＋他楽器)

謝礼：音楽普及事業のため、学校側の負担は無料/内容：各学校にあわせて演奏者・プログラムを調整

プログラム例：

【ピアノソロ】ショパン「黒鍵」/シューマン「トロイメライ」【クラリネットとピアノ】シュライナー「インマー・クライナー」/「星に願いを」

【合奏&合唱】「パフ」/校歌

問合せ先：ピティナ本部事務局 学校クラスコンサート係 小野 E-mail: school@piano.or.jp

ホームページ：http://www.piano.or.jp/concert/school/index.html (ビデオも掲載)

今後の予定：2005年9月30日(金)北本市立北小学校/10月14日(金)北本市立中丸東小学校/11月22日(火)文京区立昭和小学校